

IR Report

第34期 第2四半期株主通信 (2013年1月1日~2013年6月30日)



使い勝手の良い、 物流を一手に任せていただける会社に

皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当社の代表取締役社長に、前副社長の常多晃が就任しました。第2代社長として今後、当社グループをどのような方向に導いていくのか。常多新社長に話を聞きました。

第2代社長として、まずやるべきこととは？

少子高齢化に伴い日本経済が縮小傾向にあることを考慮すれば、グループとして必然的にアジアをはじめとした新興国に目を向け、海外比率を上げていかなければなりません。また、日本では今後の輸出入の推移を考えると、売上高に占める輸入ビジネスの割合をもっと増やし、コアビジネスとしていく必要があります。



代表取締役社長

常多 晃

アジアでは、どのような地域に力を入れる？

従来力を入れてきた中国に加え、ベトナムやミャンマーなども含めた東南アジアへもベクトルを向けていきます。中国の内需型成長の減速などを踏まえたものです。

ただ、これまでのように輸出混載主体ではなく、工場移設などのプロジェクト輸出やタイやインドネシアからのアパレル・食料品輸入に絡んだ物流など、日本の輸出入のトレンドを追った多様な物流を手掛けられればと思います。

輸入ビジネスのコアビジネス化については？

新たに設立した子会社フライングフィッシュ株式会社（FF社）が、独自の輸入物流ノウハウを持つ物流会社・フライング・フィッシュ・サービス株式会社（FFS社）の国内事業を今年6月に取得したことで、輸入ビジネスは月次ベースでは売上高にして3割程度伸びています。競争が厳しい分野ではありますが、ヨーロッパの食材輸入に強いなどの特徴がありますので、そこを伸ばしていきたいですね。

中長期的には、内外トランスラインをどのような会社になりたい？

お客様にとって使い勝手が良く、一連の物流を一手に任せていただける会社に成長させたいと考えています。コスト面やトランジットタイム、安全性などのバランスの良い、必要な時に必要な輸送手段を提供できる運送会社になることが、私たちの目標です。

2012年4月に取得した航空貨物を強みとする株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパン（UCI社）に加え、FFS社の事業を得たことにより、必要なサービスは一通り揃ってきました。今後は、これらの当社グループへの統合を進め、シナジー効果を引き出していくことが重要です。それが、今秋に策定を予定している次期中期経営計画の要となるでしょう。

シナジー効果を引き出すために必要なことは？

人材の教育に尽きます。お客様の商流や商品をもっと理解し、より良い物流提案ができるようになることが大事で、そのためには社員一人ひとりが、お客様の業態や商品、サービスについて専門的に学ぶ必要があります。

物流は最終的には、出荷地から目的地までのドアトゥドアに収斂されていきます。輸出、輸入、航空といった縦割りのな考え方は運送会社側の都合であり、お客様に本当に必要なのは、輸出と輸入を組み合わせた最も効率の良い物流提案です。それを実現するためにも、社員と管理職、そして経営陣のコミュニケーションを密にし、全体のスキルアップや意識改革を進めたいと思います。ノウハウの共有を目指した、FF社やUCI社と当社との人材交流も実施する方針です。

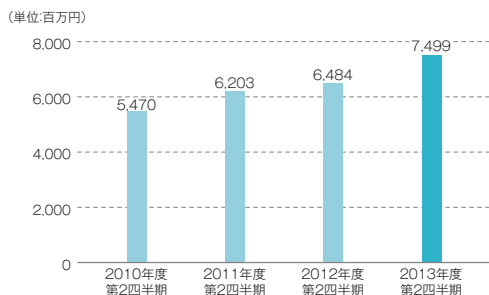


最後に、株主の皆様に対してひとこと。

東証2部に上場する際、社員たちに「これからは人のために利益を上げる」「投資家に出資いただいている以上、ゲインを期待されるのは当然」「株式の価値の裏付けは、会社に対する信頼や信用だ」と伝えました。そして社長になった今、この3つを実現する責任を私が負うこととなります。皆様のご期待に添えるよう、これらを着実に実現してまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■当第2四半期の業績

売上高

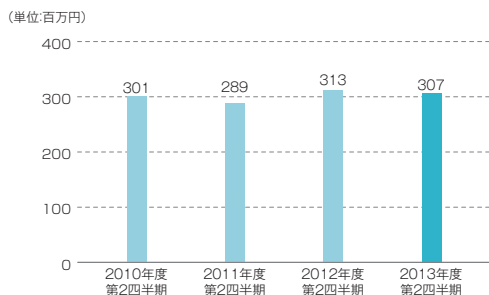


7,499百万円
(前年同期比15.6%増)



国内では、輸出入とも混載貨物が減少した一方で、輸出入フルコンテナ貨物及び航空貨物が大きく売上を伸ばし、国内子会社ユーシーエアフレイトジャパン社も寄与しました。海外では、インド、香港、タイでの売上が大幅に伸び、中国、韓国でも堅調に推移しました。

四半期純利益

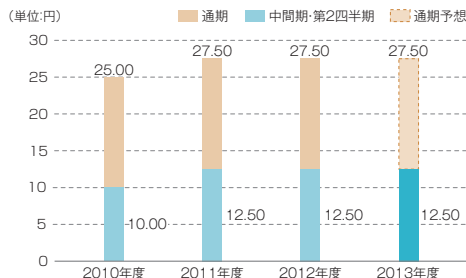


307百万円
(前年同期比2.0%減)



売上増に伴い売上総利益は拡大したものの、フライング・フィッシュ・サービス社の事業譲り受けに関連したM&A及び事業立上げ費用、のれん償却費の増加を吸収し切れなかったことなどから、各利益はいずれもわずかに低下しました。

1株当たり配当金



12.50円
(前年同期と同額)



業績の推移並びに財務状況などを総合的に勘案しつつ、安定的な配当の継続実施を将来にわたり堅持する方針のもと、当第2四半期の配当金については12.50円としました。昨年7月の株式分割実施を勘案すると、前年同期と同額です。

(注) 当社は、2012年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。そのため、当該株式分割に伴う影響額を加味し、2012年度以前の数値を遡及修正しています。

キャッシュ・フロー指標 (単位：百万円)	2010年度 第2四半期	2011年度 第2四半期	2012年度 第2四半期	2013年度 第2四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	412	309	355	133
投資活動による キャッシュ・フロー	△12	△482	△269	△629
財務活動による キャッシュ・フロー	△97	△48	△223	△97
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,109	3,362	3,427	3,036

資産関連指標 (単位：百万円)	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度 第2四半期
総資産	5,933	6,326	7,110	7,746
純資産	4,723	5,040	5,610	6,061
自己資本比率 (%)	79.2	79.0	78.2	77.5

1株当たり指標 (単位：円)	2010年度 第2四半期	2011年度 第2四半期	2012年度 第2四半期	2013年度 第2四半期
1株当たり四半期純利益	123.40	55.59	59.93	58.40

(注) 2012年7月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり指標の算定については、2011年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

Topics

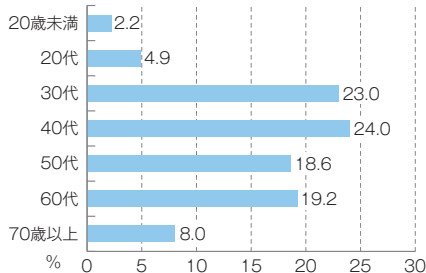
□ フライング・フィッシュ・サービス社の国際複合一貫輸送事業を取得

当社グループはこのほど、大手得意先を中心に輸入をメインとした営業基盤を確立しているフライング・フィッシュ・サービス株式会社（本社・東京都港区）の国際複合一貫輸送事業を、当社子会社フライングフィッシュ株式会社（本社・東京都中央区）を通じて譲り受けました。事業領域を広げ、国際総合フレイトフォワードナーへと成長するためのもので、今後、シナジー効果の発揮に向け協業を進めます。なお、当期の通期業績への影響については、現在精査中です。

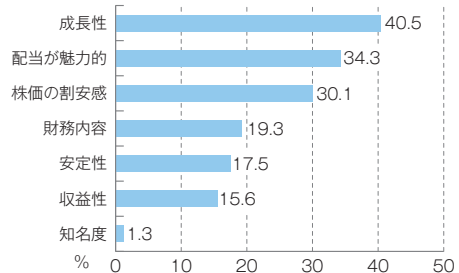
3,512名様からご回答、30~40代の方が多数

第33期株主通信ご送付の際に実施いたしました「株主アンケート」では、全株主様の87.1%に当たる3,512名の方々からご回答いただきました。ご協力いただきました皆様に御礼を申し上げますとともに、集計結果をご報告させていただきます。

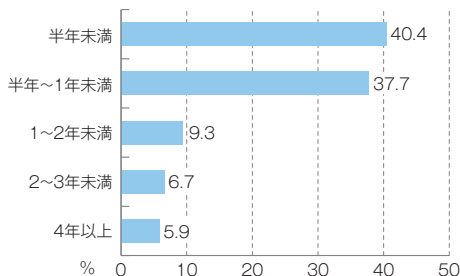
質問1 株主様のご年齢



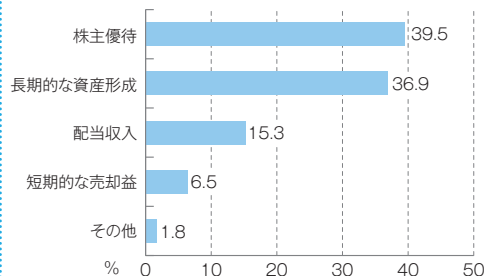
質問2 当社株式の購入理由(複数回答)



質問3 当社株式の保有期間



質問4 株式投資において最も重視していること



株主様の声 (一部)

- 中期的な計画指標とフォローをきちんと示す様に望む (40代男性)
- 株主優待に興味があつて購入しましたが、事業内容も面白そうですね。期待しています (20歳未満女性)
- 増配、東証一部上場、株式流動性向上を希望 (30代男性)

会社概要

会社概要

2013年6月30日現在

社名	内外トランスライン株式会社 (英名：NAIGAI TRANS LINE LTD.)	加入団体	FIATA IATA 国際フレイトフォワーダーズ協会(JIFFA) 日本貿易振興機構(JETRO)
設立	1980年5月1日		
代表取締役社長	常多晃		大阪商工会議所 東京商工会議所
従業員数	514名(連結)		神戸商工会議所 名古屋商工会議所
資本金	232,293,740円		横浜商工会議所 福岡商工会議所
上場市場	東京証券取引所市場第二部		東京通関業会 横浜通関業会

国内事業所

2013年6月30日現在

本社	大阪市中央区安土町三丁目5番12号 住友生命本町ビル 3階	神戸支店	神戸市中央区東町126番地 神戸シルクセンタービル 5階
東京支店	東京都中央区日本橋三丁目8番2号 新日本橋ビル 6階	広島営業所	広島市南区比治山本町16番35号 広島産業文化センター 10階
横浜支店	横浜市中区日本大通60番地 朝日生命横浜ビル 4階	門司営業所	北九州市門司区港町九丁目11番 門司港レトロスクエアセンタービル 3階
名古屋支店	名古屋市中区錦二丁目15番22号 りそな名古屋ビル 5階	福岡営業所	福岡市博多区博多駅前二丁目20番1号 大博多ビル 10階

役員一覧

2013年6月30日現在

代表取締役会長	戸田 徹	取締役	戸田 幸子
代表取締役社長	常多 晃	取締役	太田 達雄
専務取締役	大川 友子	監査役(常勤)	佐藤 達朗
取締役	田中 俊光	監査役	木曾 隆司
取締役	三根 英樹	監査役	川崎 裕朗



表紙写真

ニューヨーク港

米ニューヨーク州・ハドソン河の河口に位置する大規模港。近隣にあるニュージャージー港を含めれば、北米東海岸でも最大級の規模を誇ります。観光スポットとしても有名で、アメリカのシンボルのひとつ「自由の女神」は、港にほど近いリパティ島にあります。

株主メモ

- 事業年度：毎年1月1日から12月31日まで
公告方法：電子公告の方法により、下記ホームページに掲載いたします。
定時株主総会：毎年事業年度終了後、3か月以内に開催いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日：定時株主総会 12月31日
期末配当金 12月31日
中間配当金を行う場合 6月30日
http://www.ntl-naigai.co.jp/
株主名簿管理人：東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
単元株式数：100株
上場取引所：東京証券取引所市場第二部
証券コード：9384
- お取扱窓口：証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。
証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）、下記のお取扱店にてお取次いたします。
なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。
- お問合せ先：〒168-8507
東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く9:00～17:00）
- お取扱店：みずほ証券
本店、全国各支店および営業所
プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取扱いたします。
*カスタマープラザではお取扱できませんのでご了承ください。
- みずほ信託銀行
本店および全国各支店
*トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
- 未払配当金のお支払：みずほ信託銀行 本店および全国各支店
みずほ銀行 本店および全国各支店
（みずほ証券では取次のみとなります）

内外トランスライン株式会社

〒541-0052 大阪府中央区安土町三丁目5番12号 住友生命本町ビル3階
TEL 06-6260-4710 FAX 06-6260-4719

